

支配人市控

桑港支店「」

昭和九年七月二十日

桑港支店



" MADE IN JAPAN "

SATURDAY EVENING POST 誌 論 文

本又ハ去ル July 7th 1934 發行サタデーイヴニングポスト誌ノ第一頁ニ  
掲載セラレタ Isaac F. Marcossin 氏ノ論又ヲ譯出シタモノデアツテ氏ハ  
最近日本商品ノ世界各國ヘノ洪水的大進出ハ如何ニ各國ノ産業界ヲ  
脅威シツ、アルカ、又此ノ儘ニ袖手傍觀スルニ於テハ日本品ノ天下ト  
ナリ益々其ノ跋扈跳梁ヲ壇ニスルコトヲ警告シ讀者三百萬ニ其ノ窮  
狀ヲ訴ヘテ居ル

其ノ内容著シク誇大ニ失スル處アルモ日本商品ノ飛躍振リヲ窺ヒ得  
ルト共ニ時節柄興味アル論又デアルト思フ (武内)

日本人ハ世界デ一番巧妙ナ手品師デ、ボードウイルノステイヂヤ曲藝團ニ出ル様  
ナ監督人ノ様ナモノデアル、日本ハ又非常ニ兩手使ヒノ國民デアツテ上手ニ兩手  
ヲ使ヒコナス實ニ不思議ナ國民デアル、一方ノ手ハ銃劍ヲ以テ領土侵略ヲ行  
ヒ他方ノ手デハビロートノ手袋ヲ嵌メテ商品見本ヲ持参シ此ノ兩手ノ協同動作ニ  
ヨツテ現在日本ヲシテ東亞ヲ君臨シ、世界ヘノ「スローガン」「支那ヨリ手ヲ退  
ケ」「亞細亞ノ亞細亞ハ」ハ竟ニ亞細亞ヲシテ日本ノ亞細亞タラシメタモデア  
ル日本品ハ今ヤ支那、英國保護下ノ印度エジプト、マレイ半島亞非利加、更ニ蘭領  
インド合衆國ニ侵入シ最後ニラテン亞米利加ヲ蠶食シ今ヤ全世界ヲ席捲セントシ  
テイル

支那ハ日本品ニ對シテハ時々思ヒ出シタ様ニ昔カラ彼國唯一ノ武器デアアルボイコ  
ツトヲ行ツテ居ル 英國ハ最近頃ニ自國ノ貿易戰線ニ異狀ヲ來ヤルヲ切リニ憂  
慮シ終ニ去ル五月英國ノ屬領地ヘ日本品ノ輸出ニ制限ヲオイテ防禦戰線ヲ敷クニ  
至ツタノデアアル

シヨンプルガ日本ヲ抑ヘ付ケテ居ル間ハ米國ハ吞氣ニ構ヘテキタガ我頭對岸ノ火  
事視スル事が出來ナクナツタ、過去一々年間ノ内ニ我が米歐戰圈內ニ猛烈ナ勢  
ヒヲ以テ侵入シテ來タ日本品ノ競争ハ益々尖鋭化シ竟ニ我が有力ナル二大市場、  
ラテン亞米利加及比島ニ今ヤ脅威ヲ感ズルニ至ツタ爲メ吾人ハ茲ニ警鐘亂打ヲ注

意ヲ勝越スル次第デアル

本年一月二日本ハ絲製品輸出ハ中米二二九六パーセント  
比島二一七三パーセントノ増加ヲ示シタ、勿論現在ノ處日本ノ  
左シテ多クハ無イカ今後舊瓶ス可キモノデアル 米國ノ市民ハ  
論ニ遺憾ナラ我ガ米國貿易上ニ日本ガ如何ニ影響ヲ與ヘテ居ル  
カヲ巧妙ナ技術ヲ有スル日本ハダンピングノ品物ヲ米國品ニ  
似サシテ米國市場ヲ濫歩ヤシメテ居ル 向小更ニカモフラー  
字ヲ隠シテ其ノ原產地ヲ發見出來ナイ場合ガアル、之レハ  
法律上非常ニ喧シク規定サレテアルガ往々日本產ヲ示ス  
貼紙ガ破損サレテ其ノ印刷ヲ判讀ニ苦シム場合ガ屢々アル

亞米利加人ハ一般ニ高イ賃銀ト短時間ノ労働ヲ以テスルガ  
反對ニ日本人ハ低廉ナ賃銀ト長時間ノ労働ヲ以テ品物ノ  
生産ニ従事スルカラ日本商品ニ對抗ハ困難デアル 殊ニ  
今日米國ニ於テハ N. R. A. ノ實施以來賃銀ノ増加、  
労働時間ノ短縮、労働者ノ増加ヲ以テシテハ彌ガ上ニ  
日本商品ノ歡迎ヲ行ツテ居ルモノト謂ハネバナラヌ、  
換言スレバ日本ノ貿易發展ヲ助長ヤシメルガ如キモノ  
デアアル 即チ一週六十時間乃至七十二時間ノ労働時間  
ニ對シ僅力ニ一週四十時間ノ労働デアル又一日貳弗  
五拾仙ノ賃銀ニ對シテ日本人ノ賃銀ハ二十仙カラ五十  
仙デア



ツテ一般工場ニ從業シテ居ル、米國ニ於テハ幼年勞働ハ禁ジテ居ルガ却テ日本ヨリ日本ノ幼年ニ造ラレタ品物カ澤山ニ輸入サレルカラ米國ヨリ勞働力金ヲ下附スルニ均シイ

米國ハ排日移民法ヲ制定シテ日本移民ノ入國ヲ禁ジタガ夥多ノ日本物品ガ入國スルカラ結局移民法ノ制定ニ才盾ヲ生ズル次第デアル

大統領ハN. R. A.ノ第三項「一ニ基キ輸入品ノ上ニ割當輸入禁止、或ハ其他ノ條件ヲ以テ米國ノ製造業者ヲ救済スル惟限ヲ附與サレテ居ル 一九一五年世界ノ大半ガ大戰ニ參加シタ時ニ日本ハ支拂ニ回ツテ二十一ヶ條ノ要求ヲ行ヒ、一九三一年一九三二年ニ襲ツタ大不況ニハ誰モ彼モ此ノ不況打開ニ夢中ニナツテ居ツタ其ノドサクサニ彼ノChapel（上海）ノ攻撃經イテ事實上ノ滿州ノ併吞ヲ行ツテ仕舞ツタ

N. R. A.ノ實施以來諸物價ハ騰貴シ始メ日本ノ物品ハ遠慮ナク我が市場ヲ荒シ廻リ彼我競争ハ益々激甚トナツタ

茲ニ二ツノ代表的物品ノ例ヲトツテ如何ニ日本品ガ我がN. R. A.ヲ利用シタカヲ紹介スル 一九三二年ニ日本製安全燐寸輸入額ノ9.3%ヲ占メテ居ルガ一九三

三年ニハ73.4%米國ノ全消費額ノ約二分ノ一二近イ

一九三二年ニハ日本製鉛筆七六九ハグロスヲ購入シタガ一九三三年ニハ一躍

一七一、〇〇〇ダロスヲ示スニ至ツタ、他ニ玩貝ヨリ純物ニ至ル迄悉ク破竹ノ勢ヒ  
テ沛人シ好メタリデアル

今ヤ世界ノ各商業市場ニ於テハ日本ハ如何ニ怖ル可キ勢力ヲ有シテ居ルカハ贅言  
ノ要ハナイ、今ヤ日本ハ世界至ル處ニ於テ移民ノ入國禁止ヲ行ハレテ居ルガ爲メ  
其ノ濫レントスル移民ノ代リニ日本ハ商品ノ海外輸出ヲ日論ンデ居ル事ハ周知ノ  
事實デアル、乘ヘ圓貨安、低貨裁、長時間労働ヲ以テ國際市場ニ安價ナル品  
物ヲ供給スル事ハ大ナル惱ミノ種デアル

或ル米國人ハ日本ガ如斯輸出ヲ吐ンニ行フ事ハ日本ノ政府ガ懸命ニ獎勵ヲ行ツテ  
居ル事ヲ賞讃シテアル、然チ日本ノ政府ハ凡有産業機關ニ補助金ヲ與ヘテ居リ其  
ノ輸出ノ統制ヲ計リ價格ノ釣上、釣下ゲヲ自由ニ行ヒ特ニ生糸ノ如キハ其レデア  
ル取ハ船曾船ニモ補助金ヲ與ヘテ過去十ヶ年間ニハ實ニ九千万弗以上モ政府ハ船曾  
船ニ補助ヲ試ミタ、又輸出補償法ナル法律ノ制定ヲ見テヨリ輸出船八ハ万一ノ損  
失ニ對シテハ七十パーセント迄政府ガ之レヲ補償シ鐵道運賃ノ如キモ止規ノ運賃  
ヨリ二十パーセントモ割引ヲ與ヘテ恩惠ニ浴ヤシメテ居リ日本銀行ハ非常ニ低利  
ヲ以テ金融ノ使ヲ計リ其ノ他輸出獎勵ニ資スルニ免稅ヲ行ツタリ凡有援助ヲ與ヘ  
テ居ルノデアツテ此レ等ノ事實ニ對シテハ蓋シ驚嘆ノ外ハ無イ。

又日本ノ政府ハ商品陳列館ヲ設ケテ自國製產品ノ紹介ヲ行ヒ一體榮光ヲハルウ  
云フ品物ヲ望ンデ居ルカ倫敦デハ斯ウ、或ハフエノスアイレスデハコンナ品物  
ヲ輸入シテ居ルト云フ處ニ左ウシタ一般智識ヲ與ヘ官民共ニ協力シテ日本品ノ  
世界的進出ニ回ツテ最善ノ努力ヲ拂ツテ居ル、若シ日本ニ新シキ宗教ガアルト  
スレバ其レハ「輸出ヘノ崇拜」デアアル

現在下級ニ屬スル工業ヲ分舞スルト一ツハ家内工業デアリ一週一〇五時間ヨリ  
尠クナイ勞働時間ヲ以テ玩具等ノ生産ヲ全家族ヲ擧ゲテ行ヒ一ハ所謂小工場デ  
アリ其ノ代表的ノモノハ大阪ニ於ケル例ヲ取ツテ説明ガ出來ル

此ノ大阪ノ工場ハ住宅兼工場デアツテ一ツノ室ニハ二三臺ノ機械ヲ備ヘ付ケ雇  
主ト使用人四人ヲ以テ全工場員ヲ組成シテ居ル、雇主ハ別ニ自己ニ對スル賃銀  
トカ俸給トカハ決定シテナイガ併シ各々ノ取引ヨリ生ズル利益ハ自分ノ所得ト  
ナルノデアアル、此レ等ノ小工場ノ生産高ハ極メテ少額デアルト雖モ之レヲ集メ  
レバ海外ノ市場ニ輸出スル莫大ナ高トナルカラ驚嘆ス可キデアアル

日本ノ如何ナル地ニ於テモ此レ等ノ工場ハアル、而シテ一方ニ日本品ノ世界市  
場ニ活躍スル因ヲナスモノハ日本ノ産業合理化ト新式設備ヲ有スルコトデアアル  
日本ニ於ケル紡績、絹織物ノ工場ハ大工場ガアリ加之日本ノ勞働者ハ勤勉且忍  
耐力ニ富ンデ居ルカラ日本ノ商品ハ低廉且ツ優秀ナルハ尤モナル所以デアアル

又日本ノ政府ハ商品陳列館ヲ設ケテ自國製產品ノ紹介ヲ行ヒ一體榮華ヲハ何ウ云フ品物ヲ望ンデ居ルカ倫敦デハ斯ウ、或ハフエノスアイレスデハコンナ品物ヲ輸入シテ居ルト云フ處ニ左ウシタ一般智識ヲ與ヘ官民共ニ協力シテ日本品ノ世界的進出ニ回ツテ最善ノ努力ヲ拂ツテ居ル、若シ日本ニ新シキ宗教ガアルトスレバ其レハ「輸出ヘノ崇拜」デアアル

現在下級ニ屬スル工業ヲ分類スルト一ツハ家内工業デアリ一週一〇五時間ヨリ尠クナイ勞働時間ヲ以テ玩具等ノ生産ヲ全家族ヲ擧ゲテ行ヒ一ハ所謂小工場デアリ其ノ代表的ノモノハ大阪ニ於ケル例ヲ取ツテ説明ガ出來ル

此ノ大阪ノ工場ハ住宅兼工場デアツテ一ツノ室ニハ二三臺ノ機械ヲ備ヘ付ケ雇主ト使用人四人ヲ以テ全工場員ヲ組成シテ居ル、雇主ハ別ニ自己ニ對スル賃銀トカ俸給トカハ決定シテナイガ併シ各々ノ取引ヨリ生ズル利益ハ自分ノ所得トナルノデアアル、此レ等ノ小工場ノ生産高ハ極メテ少額デアルト雖モ之レヲ集メレバ海外ノ市場ニ輸出スル莫大ナ高トナルカラ驚嘆ス可キデアアル

日本ノ如何ナル地ニ於テモ此レ等ノ工場ハアル、而シテ一方ニ日本品ノ世界市場ニ活躍スル因ヲナスモノハ日本ノ産業合理化ト新式設備ヲ有スルコトデアアル日本ニ於ケル紡績、絹織物ノ工場ハ大工場ガアリ加之日本ノ勞働者ハ勤勉且忍耐カニ富ンデ居ルカラ日本ノ商品ハ低廉且ツ優秀ナルハ尤モナル所以デアアル



ランカシアノ男工が毎カ六仙ノ織機ヲ擔當スルニ日本ノ女工ハ二十仙ヲ擔當シ  
テ居ル有様アル何ト感嘆ス可キデハナイカ

日本品が同故ニ斯クモ高騰視ヲ拂ツテ引合ツテ居ルカノ事實ニ就テ説明要カヘ  
タイ

先ツ綿織物ニ就テ申スナレバ既ニ英國ノ綿業界ヲ驚愕セシメ我が米國モ同様に  
運命ヲ見ントシテ居ル

日本ニ於ケル産業界ノ内デ最モ紡績業ハ組織化サレ日本綿物業者協會ハ全生産  
額ノ<sup>98%</sup>ヲ生産シテオル、最モ驚ク可キ事實ハ錢ノ數ハ八、六四一、〇〇〇錢、一ヶ年  
三、〇〇〇、〇〇〇ペールノ棉花ヲ消費シテ居ルガ米國ハ三一、〇〇〇、〇〇〇錢ニ  
六、〇〇〇、〇〇〇ペールヨリ消費シナイ、此ノ數字ニ據レバ日本ハ米國ノ四分ノ  
一ノ錢ヲ以テ約半分の棉花ヲ消費シテオル事ニナル

此レハ勿論日本ノ労働時間ガ我が一週三十時間乃至四十時間ニ對シ日本ノ労働  
者ハ一週七十二時間ノ労働、賃銀モ日本ハ一週一疋二十一仙カラ一疋六十五仙  
ニ米國ハ一週十六疋乃至二十四疋デアル

己ナラズ更ニ今一ツノ特種事情ガアル其レハ N I R A ノ第三項 (e) 條項ノ下  
ニ米國綿布保護ノ申請ヲ本國輸出協會長 Walter Brewster 氏が大統領ニ提出シタ  
陳請書ノ一部ニ即チ

「日本ノ新製品ノ競争ハ特種ノ事情ヲ有スル、日本品ハ另ニ角獨創的ナ事ヲ  
ヤラスニ米國品ノ特徴ヲ模倣シテ居ル英國品ニ至ツテハ日本ハ少々其ノ模  
倣ニ凶惡ノ様デアル云々」

ト報告ヲ試ミテ居ル事デアル

日本ノ新織物ガ米國市場ヲ攪亂シ更ニ米國ノ海外市場ヲモ蠶食シツ、アル事ノ  
代表的例トシテ新織物ヲ舉ケル

日本製ノ新織物ノ毛蟲糸布 (Chenille) ハ日本製ナレバ四十二仙デアルガ米國製  
ナレバ七十二仙拂ハネバナラヌ、紐育市場デモ日本製ハ50%モ米國品ヨリモ安値  
デ日本商人ハ供給シテ居ル

其ノ結果米國品ハ賣レナクナル之レハ當然ノ歸結デアル、昨年ノ九月ヨリ今春  
ハ新織物製造工場ハ85%閉鎖シテアル、此ノ爲メニ北カロライナ州知事現織物協  
會顧問マツクスカートナー氏ハ華府ノ關稅會議ノ聽問會ノ席上ニ此ノ問題ニ關  
シ次ノ如ク述ベテ居ル

「ジョウシヤ州ノラクランナニ於ケル綿布工場ニ約五百四十八名ノ従業員ガ  
店タガ極メテ雇調ニ従業員生産能率ヲ擧ゲテ居タニモ不拘一處ビ日本製綿布  
ガ輸入サル、ヤ終ニ其ノ製産ヲ脅力サレ、就業男女従業員ハ失職ノ止ムナ  
キニ立チ至ツタ」

事ヲ報告シテ居ル、叙上ノ如キ問題ガ惹起サル、ニ及ンデ關稅委員ハ本年五月  
ニ日本製輸入品ニ對シ割當制ヲ設ケ一々年六十五万平方ヤードニ制限シタ  
從來ノ輸入ハ

一九三二年 四七二〇〇〇平方ヤード

一九三三年 一〇七四〇〇〇平方ヤード

ノ數々可キ數字ヲ示シテ居ツタノデアアル

石ノ如キ割當ノ外ニ一ヤード十五仙ヲ輸入税トシテ、シニール、ラツグニ課ス  
事ニナツタ、更ニ綿ハンカチーフモ同様米國品ヨリ<sup>25%</sup>乃至<sup>33½%</sup>方安値ニアルヲ以  
テ大打撃ヲ蒙ツテ居ル事ハ説明ノ要ハナイ、更ニ目ヲレイヨンニ轉スルナレバ  
一九三三年十一月一日ヨリ六ヶ月即チ本年五月迄ニ日本ハ五百万本ノ打紐ヲ帽  
子製造ニ使用ノ爲メニ輸入シタガ一ムハ七十二ヤード重量三オンスアルガ之レ  
ニ<sup>45%</sup>ノ輸入税ヲ拂ツテ尙且ツ二十仙デ賣ツテ居ル、米國品ハ到底斯ナ馬鹿ゲ  
タ値段デハ採算カ合ハヌ、同ウシテモ七十仙デナケレバ算盤ガ合ハナイ

此ノ打紐カラRayon Yarn ハViscaト呼バレテ居ル、一九三三年ノ米國ノVisca  
生産高ハ八十万封度、日本ノViscaノ輸出ハ米國ノ已チ五十万封度チ米國品ノ三  
分ノ二ヲ占メテ居ル、綿織物ニシテモ日本ハ米國輸出ノ7%ヲ喰ヒ込ミ此ノ7%ト  
雖モ三万五千八ノ従業員ノ失職ヲ來スコトニナル



米穀ノ輸出入市場ハ最近俄ニ日本ニヨツテ攪亂サレテシマツタ、南米、比島ニ進出スル日本ノ輸出ハ

一九三二年 一八、二六五、〇〇〇圓

一九三三年 四六、六〇〇、〇〇〇圓

ヲ示シ非常ナ増進振リヲ現ハシテ居ル

ラテン亞木利加ノ日本品輸出ニハ特ニ綿布、人絹布、電球等ニアルガ、墨西哥トブラジルノ二國ニハ日本製綿布ガ未タ侵入シテナイ、之レハ何故カト云フニ此レ等ノ國ニハ相當ニ産業カ發達シテ居ル爲メニアル

日本ハ南米ニ對シテハ輸出許リヲ行ツテ輸入ヲ行ハヌト謂フ策法ノ邊ヲ歩ンデ一九三三年ノ數字ニ於テ

輸出 四六、六〇〇、〇〇〇圓

輸入 一三、三一〇、〇〇〇圓

ヲ示シテ居ル

コロンビヤ國ノ如キハ米國ヘハ85%ヲ輸出シ米國カラノ同國ヘノ輸出ハ同國ノ45%ニアル、同國ト日本トハ一層不平衡ニ

一九三二年日本ハ同國ヘ對シ

輸出 二六二、〇三八、弗二六仙  
輸入 一六六弗



一九三三年

輸出 三九一、三三四弗

輸入 一六七弗

吾人ハ日本ノ雜物品ノ價降ニ一瞥ヲ下サバ何故ニ斯クモラテン亞米利加ニ日本品  
ガ賣リ振メラレテオムカ台點ガ行クト思フ、ハバナノ輸入業者ハ日本製木綿  
ヲ米歐品ヨリモ低仙乃至十仙安價ヲ賣ツテ居ル、初來智利歐ハ米歐品ノ獨占市  
場デアツタガ、米歐品<sup>1/4</sup>仙C. I. F.ノ賣價ニ對シ日本ハ<sup>1/4</sup>仙C. I. F.ノ賣價ヲ輸入ヲ  
行ヒ、ハイチニ於テモ米歐品<sup>3/4</sup>仙日本品<sup>1/2</sup>仙ノ價降デアル、人絹ヤーンニモ到底  
米歐品ハ日本ノ敵デハナイ、<sup>6</sup>幼獨ニ於テハ日本品ハ一割度二十五仙ヲ賣振キ、  
米歐品ハ六十五個デアルカラ當然太刀打ちガ出來ナイ  
コロンビヤニ於ケル日本人ノ販賣員ハ非常ニスマートデアル、彼等ハ「我々日本  
人ハ世界中デ一番ノ茶ヲ嗜好スル國民デアル」旨力ヲ發揮ヲ輸入シテ日本國中  
ル處ニCoffee Houseヲ作ルカラ日本ハ眞國ヨリ**珈琲**ヲ輸入スル、其ノ代リニ日本品  
ヲ精々賣ツテ下サイ」

ト言ヒ騰ラシテ商會ヲ行ツテ居ル、同ト巧妙ナ日本人デハナイカ。  
ラテン亞米利加ニ於ケル日本ノ大進出ハ日本政府ガ專ラ指導ニ當リ銀行並商工業者  
ヲ始メ商會社等總テ協力一致シテ輸出方面ニ努力ヲシテ居ルカラ益々發展スル

# 譯テアル

殊ニ日本ハ通商便路ヲ凡有各地ニ派遣シテ其ノ財路ヲ探知マ計画シ  
テオル、驚ク可キ事ニ其ノ旅行ハ所謂大名旅行デアツテ女中ハ勿論  
料理人ニ至ル迄引貝シテ非常ニ資澤三昧ナ旅行デアルカラ先般日印  
會館ノ舞台ノ如キハ實ニ六十五人ト云フ大勢ヲ引連レテ彼ノ地ニ乘  
リ込シタ譯テ俗モ相交ガ目的ヲ山掛ケタ極ナモノデアル

日本品ノ輸出ノ顯著ナル事ハ數字ガ如實ニ語ツテアル

日本ヨリノ品物ノ多ク、One way Traffic アツテ餘賒ス可キ事ニハ比島

ヘノ日本製織物ヲ我が米比ヨリノ大宗タル細製品ハ一躍  
減退シ反對ニ日本品ハ10%ヨリ56%ニ躍進マナスニ至ツタ、  
1933年三月ニ米國細布ハ一二、五〇〇梱、マニラニ輸入サレタガ  
80%ヨリ32%ニ

日本品ハ僅カニ一、五〇〇梱デアツタ

然ルニ一九三四年三月ニハ米國品一、五〇〇梱日本品ハ五、八〇〇梱ニ  
轉倒スルニ至ツタ

此レハ明瞭ニ日本品ガ安價デアル爲メ我ガ米國品ノ敗退スル所以  
デアル、假令比島ヘノ輸出ニ際シテハ關稅壁ガ設ケラレテ米比ト同  
様ニ高關稅ヲ日本品ニハ附加スルガ尙且10%ヨリ30%方下廻ツタ値段ヲ

輸入サレテ居ル現状デアル、此ノ猛威ヲ奮フ日本品ヲ驅逐ヤシムル唯一ノ武器ハ文班ノ商人デアアル、文班ノ商人ハ現在比島ニ於テ其ノ商業ノ90%ヲ左右シテ居ルカラ何時デモ日本品ニ對シテホイコツトヲ斷行スル事カ出来ル、左ウスレバ米製品ハ助カル語デアアル

日本ハ毎年平均シテ我ガ米國ヨリ棉花約百五十万俵輸入ヲ行ツテ居ル、一九三二年ニ一割減五仙デアツタ時ニ貳百貳拾九万參千八百卅壹俵ヲ輸入シテ大イニ過去一ヶ年ノ比ニ世界ノ市場ニ安價ニシテ輸出ヲ行ツタ譯デアアル  
日本ハ米國ニ生糸ヲ輸出スル代リニ米棉ヲ我ガ米國カラ買付ケヲ行ツテ御互ニ無税ヲ輸出輸入ヲ行ツテ居ル

此ノ關係ヲ誤ヤナイ爲メニ米國ノレイヨンハ脅威ヲ感ジテ居ル

紐育ノテリーリレコード紙ニヨル亞米利加ノ一般的ノ意見トシテハ

「日本ハ亞米利加ノ棉花ヲ今ノ取モ安價ナ内ニハ需メルチ有ロウカ若シ

他方ニヨリ安價ナ棉花ガ供給サレル様ニナル場合ニハ直グニ米棉ヲ捨

テ、其ノ安價ナ棉花ヲ輸入スル事ハ極メテ明瞭デアアル」ト

觀察シテ居ル

如斯事實ノ下ニ日本ハ現在デハ極力我ガ米棉ヲ輸入ヲ行ツテ居ル

日本ハ最近エチオピア、ヨリモ亦ペルー、ブラジルヨリ棉花ノ買付ケヲ行フ代



リニ日本品ノ賣付ヲ行ハント懸命デアアル特ニブラジルニハ過去五ヶ年間ニ約十  
万八ノ日本入ガ移付ヲ行ツテ居ルカラ此レ等ノ國ト日本トノ貿易關係ハ益々其  
ノ發展ヲ加ヘルモノト觀ラル、

扱テ元ニ還ツテ日本人ハ燐寸ノ販路ヲ開拓スルニ巧妙ニシテ例ヘバスエーテン  
製ノ燐寸ニ似ヤル爲メニ内地デモスエーテン製ト呼バシメテ居リ印度ニ於ケル  
本島ノスエーテン燐寸販賣ニ到シ打撃ヲ與ヘシメテ居ル、米國ニ於テハ一九三  
〇年ノ海稅法ヲ制定ヤシメテ結果如斯狡猾ナ日本ノ誤魔化シハ効カナクナツタ  
米國ヘ輸入サレテ居ル日本製燐寸ハ普通安全燐寸デアアル、米國ハ年額八百万ク  
ロスヲ消費シ其ノ大過半ハ輸入ニ由ルノデアアル、而シテ輸入ノ73.4%  
九万二千二百九十九クロスハ一九三三年度ニ日本カラ輸入サレタ、  
丁度一九二八年ヨリ一九三二年迄ノ五ヶ年間ニハ一年毎平均  
以テ輸入サレタノデアアル

昨午日本製安全燐寸ガ米國ニ輸出サレタモノハ米國ノ全消費量ノ36.1%ヲ示シテ居ル  
一九二三年ト本年トノ日本製燐寸ノインボイスノ價格ハ税金其他ノ諸掛リヲ除  
イテ一クロスニ四十一仙ヨリ十九仙ニ値下リヲナシテアル。

米國ハ燐寸製造ニハ豊富ナ原料ト完全ナ設備ヲ有シテ居ルカラ自國內ノ需要ノ  
二倍半モ供給シ得ル能力ヲ持ツテ居ル製造國デアアルニモ不拘、如何ヤン廉價ナ



日本製品が洪水ノ如ク押し寄せテ來テハ圧迫ヲ加ヘラル、ハ致シ方ガナイ、  
外國ハ大抵政府ガ專賣スルカ一二ノ會社ガ獨占シテ居ルカラ甲々容易ニ輸出ノ  
余地ガ無イ此ノ點デハ英國ノ如キ國ハ他ニ無イノデアル。

去ル五月迄ハ日本製燐寸ハ本國品一クロス八十二仙ニ比較シテ釐稅ヤ税金ヲ支  
拂ツテモ且ツ一クロス八仙デ販賣スル事ガ出來タノデアル、之レハ二ツノ  
主ナル理由ガアル、其ノ一ハ生産費ノ低廉ナル事、今モ尙ホ同様デアツテ最近  
設立サレタ工場ニ從業スル如女工ノ賃銀ハ一週六十仙、男工ハ三弗六十仙然モ  
一週六十時間労働デアル

米國ハ之レニ反シ最低女工ガ十二弗男工ハ十五弗二十仙一週四十時間ト云フ狀  
態デアル

他ニ日本製燐寸ノ低廉トスル理由ニハ一九三〇年ノ我が釐稅法ノ制定デアル、  
即チ輸入燐寸ノ白色軸木ニハ一クロス二十仙ノストレイトノ釐稅デ色付キノ軸  
木ナレバ四割ノ從價稅ヲ課シ内外品ヲ問ハス一仙ニ燐寸ニハ消費稅ヲ一クロス  
十一仙半ヲ課稅シタ、畢竟一クロス白色軸木ハ廿一仙半、色付ハ十七仙半ヲ課  
稅サレル事ニナル

右ノ如ク輸入燐寸設ケラレテモ矢張り拔ケ道ガアツテ日本製燐寸ハ總テ軸木ガ色  
付ニアルカラFancy燐寸トシテ輸入サレテ從價稅40%ヲ課ヤラレテモ一クロス十五仙

デアルカラ概ハ俵力六仙然ルニ白軋ニ至ツテハ二十仙ヲ課税サレル事ニナル  
染料十仙モアレバ一山ノ軋不カ染メラレルノデアル

日本ガ何故米歐ヘ色付キノ軋不燐寸ヲ輸出スルカハ了解出来タ事ト思フ

我が米歐ガ折角露歐ト通關條約ヲ締結サレテモ同歐ヨリノ燐寸(米歐ノ)計場ヘ輸出サ  
レル余地ガナイ有様デアル

日本ノ洪水ノ如キ燐寸ノ流入ハ到底抑止ガ出来ナイ遂ニ米歐ノ燐寸業者ハN.I.R.A.  
第三項ヘ〇ニ基キ昨年十月政府ニ嚴重ナ抗議ヲナシ其ノ結果確信書ハ大統領  
ヘ送ラレ遂ニ辭税委員ノ公聽會ガ開催サレ其ノ調査ノ結果報告ハ大統領ヘ廻ハ  
サレタ

公聽會ノアル後毎ニ製造業者ハ日本製色付燐寸ノ安價ナル點ヲ一々指摘シ色付  
燐寸ノ消費税税率ノ必要ヲ力説シ其ノ税ノ引上ヲ行ヘバ内地産トノ均衡ノトレ  
ル事ヲ説明シタ

米歐ノ燐寸製造業者ノ第一ノ陳情書ガ提出サレタガ昨年ノ十一月デ七ヶ月後  
ノ本年九月ニ本國內燐寸製造業者ノ保護法ガ制定サレルニ至ツタ、結局其レハ  
消費税ノ増税デアツテ消費税ヲ十一厘ヨリ二十九厘ニシ和價税ノ六厘ヲ加算  
シテ計九厘、五月以前ニ比ベテ丁度二倍トナツタ

日本ノ輸出ハ石ノ如キ新消費税ノ賦課ニモ不拘顧ス依然トシテ米歐品ヲ圧到シテ

ルルミヨ米國ノ燭寸協會長エフル氏ガ余ニ與ヘタ書面ニ明カニ傳ヘラレテ居ル  
燭寸ノ出產ハ此ノ邊ニ切り上ケテ次ハ鉛筆ニ這入ル、日本ノ鉛筆ハ前年ノ比ニ  
這入ツテ外タノハ一九二九年デアル、僅カニ二十五クロスガ一クロス四引五十  
四曲ノ他異テ輸入サレタ然ルニ昨午ハ實ニ十七万一千クロスガ平均他段一クロ  
ス二十二個午ニ輸入サレタ日本品ハ米國品ト好ク類似シテ同ジ体裁ヲシテ内外  
ニ輸出サレテ居ルカラ無制限ナ位ニ谷易ニ米國ニ這入り込ミ米國品ヲ圧迫シテ  
居ル、日本ニ於ケル價段一クロス二十個午ハ一クロス約八十個ノ他段ヲ輸  
入者ノ手ニ達スル、内國產ノ比較的安イ鉛筆ハ一クロス一引九十個ノ高級品ニ  
ナルト二引六十個デアルカ日本製ニ至ツテハ一引十個トイフ相場デアル

如斯次第ニ米國市場ヲ脅威スル事甚タシイ為メニ終ニ我ガ米國ノ製造家ハ日本  
ヨリノ輸出ニ對シ制限ヲ要求シタ

昨年十一月ニ鉛筆工場ノ救済ヲ政府ニ請願シタノデ米國ノ商務省ハ日本政府側  
トノ協定ニ基キ遂ニ日本ノ輸出割當ヲ一々年十二万九千クロストシ本年五月一  
日ヨリ實施ト決定シタ

米國ヘノ輸出品中鉛筆、燭寸、細布等ニ至ツテハ極ク最少部分ヲ玩具ノ如キモ  
米國ニ大熱心ヲ與ヘテ居ル特ニラハイ製品ニ於テサウデアル、一九三三年ラ  
玩具ハ一千万個以上モ輸入價格ハ六万七千四百九十三二年ニ比ベテ78%ノ增加

掛りニアル

日本品ハ米國品ニ比較シテ 50% 兎當安価ニアルカラ伺ウニモ對抗が出来ナイ、

遂ニ米國ノラバー玩具製造會社ハ破産閉鎖ヲ余儀ナクスルニ立チ至ツタノミアル

日本ノラバー製玩具ハ大部分一日二十仙ノ賃銀ニ依ツテ作ラレテ居リ而

モ家庭ニ於テ一日十二時間ノ労働ニアル、米國ハト觀ルニ米國ノ玩具製造所ノ

従業員ハ一日最低二并四十仙ノ賃銀ヲ家庭ニノ仕事ハ何ニモナイ。

日本品ニハ 70% ノ關稅ヲ課スカ同シロ圓價安ノ爲メニ効果が無い而シテ元來此レ

等ノ品物ハ輸出用トシテノ品物ニアツテ日本ノ内地ニ於テ賣捌カレナイカラ日

本ノ市價ト云フモノが無い、若シ總テノ日本輸出品ニ對スル關稅ガ日本内地ノ

市價ヲ基準トヤズ米國ノ市價ヲ基準トスルニ獲逸ハ十一万三千五百二十一打、

英國二十一万參千七百八十六打、輸出シテ居ルガ日本ハ現在ノ割合ニ行クト本

年一杯ニ八九百打ヲ輸出スルコトニナル

一九三三年度ヨリモ約二百萬打ノ増加ニアル、若シ假リニ米國ガ輸入スル支那

陶器ノ 50% 米國ガ製造スルトナルト従業員モ遊バスコトハ無い、同様ニ他ノ陶

品ニ付テモ同様ニアル

米國ニ於テ現今賣リ捌カレテ如何ナル品物ヲ取り上ゲテモ日本製ナラザルハナ

シト謂フ有様ニアル。



五月七日ニ英國ガ日本紡織物並レイヨンノ侵入ニ對シ怖ル、ノ余リ輸入割  
當抽込ヲ設ケタガ此レニ依ツテ然ラク55%ノ輸入ヲ防止スルコトカ出來ルト予想  
サレル、此ノ詭計ナルモノハ史ニ軌、自轉車、ヤアントニクボシ大英帝國ニ於  
ケル日本品ノ跳梁ヲ抑止スルコト、ナルデアロウ、

一九三二年ニ日本ハ綿織ノ物ヲ英領印度ニ六億五千万ヤード埃及ニ二億ヤード  
蘭領東印度ニ三億五千万ヤードヲ輸出シタ此レ等ノ輸出先キハ紐然タル英國ノ  
市場デアル

一九三三年ニハ

英國 二、〇三一、一三八、〇〇〇ヤード

日本 二、〇八七、四一三、〇〇〇ヤード

ノ數字ヲ現ハシ始メテ英國ヲ日本ハ凌駕スルニ至ツタ

英領印度ハ英國、日本、印度ノ三競争者ニヨツテ織物販賣戰ヲ演ジテ居ル

印度ニ尤般日本綿製品ノ輸入ヲ防止シ自國產ヲ奨励スル爲メニ昨年關稅ノ引上

ヲ50%ヨリ75%ニ斷行シ英國ニ50%ノ特惠ヲ與ヘタ、此レガ爲メニ日本ノ紡績組合

ハ直チニ印度ノ棉花ニ對シホイコツトヲ宣言シタ

本年一月ニシムラ會同ハ行ハレ遂ニ毎年四億ヤードノ日本綿製品ノ輸入ヲ約シ  
具メ代リニ印度棉花ヲ百五十万俵ノ輸出ヲ約シタ又日本品ニ課スル關稅ハ50%ト

シ英歐品ニハ25%ヲ設スル事トシタノデアル

本年早々倫敦ニ於テ日英紡績會議カ行ハレタガ決裂ニ終ツタ、今ヤ日本ハ經濟的帝國主義ノ旗幟ノ下ニ本國へ進出シ早晚全世界ノ貿易場裡ニ覇權ヲ掌握セントスル近程ニアル

此レヲ考フルニ我カ米歐ハ幾多ノ談レル關稅制度ノ是止完全ナル外國輸入品ノ割當ノ實施、充分ナル自國品ノ保護等ヲ試ミルニ非スンバ日本品輸入ノ防圧ヲ計ルコトハ困難ト謂ハサルヲ待ナイ。